

**製品名: PTEN (リン酸化 Ser385) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05314**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	PTEN
別名	PTEN; MMAC1; TEP1; Phosphatidylinositol 3; 4,5-trisphosphate 3-phosphatase and dual-specificity protein phosphatase PTEN; Mutated in multiple advanced cancers 1; Phosphatase and tensin homolog
遺伝子 ID	5728.0
SwissProt ID	P60484
免疫原	抗血清は、Ser385 のリン酸化部位周辺のヒト PTEN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 370-400

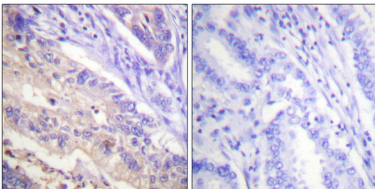
## 背景

腫瘍抑制因子。二重特異性タンパク質ホスファターゼとして作用し、チロシン、セリン、およびスレオニンリン酸化タンパク質を脱リン酸化します。また、脂質ホスファターゼとしても作用し、ホスファチジルイノシトール 3, 4, 5-トリスリン酸、ホスファチジルイノシトール 3, 4-ジリン酸、ホスファチジルイノシトール 3-リン酸、およびイノシトール 1, 3, 4, 5-テトラキスリン酸からイノシトール環の D3 位のリン酸を除去します。in vitro における基質選択性は、PtdIns(3, 4, 5)P3 > PtdIns(3, 4)P2 > PtdIns3P > Ins(1, 3, 4, 5)P4 の順です。

## 研究分野

インスリン受容体; 微小管調節; B 細胞受容体; mTOR; Akt\_PKB; タンパク質アセチル化

## 画像データ



PTEN (リン酸化 Ser385) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。右の写真は PTEN (リン酸化 Ser385) ペプチドでブロッキングした画像です。